

富山市総合計画審議会【第1回部会（共通）】

第2次富山市総合計画後期基本計画（案）についての主な意見と対応（案）

○：意見を反映するもの。

●：前期からの変更において既に対応しているもの。

項目	意見	対応（案）	現行案	修正案	担当部局	計画反映
計画全般	前期基本計画の成果と課題を検証はどこに記載してあるか。	後期基本計画の中では、前期基本計画の具体的な成果等についての記載は特にはありませんが、前期基本計画の進捗状況等について検証しながら、後期基本計画の策定にあたってきました。 なお、後期基本計画書の中では、その一部として、総合計画における施策の満足度などをお聞きする『富山市民意識調査』の結果を掲載しています。	市民意識調査（P8～12） （掲載内容は省略）		企画管理部	●
計画全般	転入者増加対策と転出者防止対策に分けて KPI を設定すべきではないか。 また、バックキャスト手法での計画立案として、徹底したデジタル化を目指して、ICT、IoT を活用するスマートシティ計画を立案したい。 （P16）	転入者の増加及び転出の抑制に関しては、IV-2-(1)（P175）の『現状と課題』において、課題の認識を示すとともに、様々な分野に横断して都市の総合力を高める必要性を述べております。 2060年を目標とする「富山市民人口ビジョン」の中で、目標値を定めており、今後5年間の後期基本計画においては、KPIを設定しておりません。 また、「（仮称）富山市民スマートシティ推進ビジョン」は、本市が目指すべきスマートシティの将来像を描き、その実現に向けた取組方針や推進体制等を取り纏めるものであります。	■現状と課題 （略） このような状況を踏まえ、「暮らしたいまち」、「訪れたいまち」となるため、産業や教育、文化、福祉などの都市の総合力を高めるとともに、（略）強力に情報発信するブランディングやシティプロモーション活動を推進する必要があります。		企画管理部	●

項目	意見	対応(案)	現行案	修正案	担当部局	計画反映
		現在、ビジョンの策定作業を進めているところであり、今後、ご提案いただいたご意見も参考とし、市民や事業者など、幅広い方々のご意見を伺いながら、策定作業を進めてまいりたいと考えております。				
計画全般	市が直面する課題と時代の潮流「人口減少と超高齢社会の進行」について 少子高齢化対策として、休耕田や耕作放棄田を利用した幼児と高齢者の食育農園等の企画も考えては如何か。	市内には、「とやまスローライフ市民農園」などのほか、高齢者農園、障害者農園、街区公園コミュニティガーデンが合計 19 箇所開設されており、野菜の収穫体験等の事業も行われているほか、心身の健康の回復・維持又は増進、子供の情操教育、老後の生きがいや一つの生活スタイルの創出、野菜の収穫体験を通じた地域コミュニティの再生等に寄与しているものと考えております。			農林水産部	
計画全般	市が直面する課題と時代の潮流「地方創生の推進」について 地方創生とは何を目指しているのか。	地方創生とは、人口の急減、少子高齢化に的確に対応し、それぞれの地域が特徴を生かした自律的で持続的な社会を創造し、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくものです。			企画管理部	
計画全般 I-3-(2)	市が直面する課題と時代の潮流「新型コロナウイルス感染症の流行による社会情勢の変化」に	外出自粛などにより自宅で座りがちな生活となるため、運動を取り入れ、バランスの取れた食事をとり免疫力を高めるよう、生活習慣の工夫について、広			福祉保健部	

項目	意見	対応(案)	現行案	修正案	担当部局	計画反映
	について 普段から「薬に頼らず免疫力を高めることが出来るか」の情報共有や、健康な食材の教育を進めてはどうか。	報とやまへの掲載や、食生活改善推進員による活動など実施しているところであり、感染状況等を鑑み、引き続き啓発に努めてまいります。				
計画全般	「企業活動の縮小・停滞に伴う大幅な税収の減少が見込まれます。」の文面は実体の認識に齟齬があるため、表現を見直されたい。(P17)	税収の動向については、危機感を持って現状を認識しているところであります。なお、実際に、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた令和2年度の税収は、前年度と比べ減少しております。			企画管理部 財務部	
計画全般	市が直面する課題と時代の潮流「情報通信技術の進展による新しい社会の到来」について 電磁波やAIが社会をコントロールする危険性について考えるべき。	電磁波については総務省において科学的に安全確認された周波数帯のものを使用しており、危険性はないものと考えています。 また、今後5箇年の後期基本計画期間において、AIが社会をコントロールする危険性はないものと考えております。			企画管理部	
計画全般 Ⅱ-1-(1) Ⅳ-3-(1)	市が直面する課題と時代の潮流「公共建築物や社会インフラの老朽化」について 余り費用をかけないインフラ整備という考え方	Ⅱ-1-(1)施策の方向⑦「公共施設等の長寿命化・老朽化対策」(P77)及びⅣ-3-(1)施策の方向①「将来にわたる都市経営の視点をもった行財政運営の推進」(P179)でも述べておりますが、社会インフラの老朽化対策について	Ⅱ-1-(1)災害に強く回復力のある安全なまちづくり ⑦公共施設等の長寿命化・老朽化対策 公共施設等総合管理計画を踏まえつつ、防災拠点となる公共施設の耐震化を推進します。		建設部	●

項目	意見	対応(案)	現行案	修正案	担当部局	計画反映
	も必要では無いか。	<p>は、国などの技術基準や利用状況などから適切な規模、構造となるよう実施しております。</p> <p>また、橋梁などの道路構造物の更新の際には、役割や機能を踏まえ、統廃合も含めて取り組むこととしております。</p>	<p>また、道路構造物の保全対策として、(略)計画的な点検を行い、道路構造物の状態の適格な把握に努めるとともに、各構造物の役割や機能を踏まえた管理水準の適正化を図るなど、統廃合を含めたメリハリのある維持管理や更新に取り組みます。</p> <p>IV-3-(1)計画的で効率的な行財政運営の推進</p> <p>①将来にわたる都市経営の視点をもった行財政運営の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来を見据えたファシリティマネジメント <p>将来を見据えた効率的な資産管理・運用を進めるため、公共施設等総合管理計画に基づき、長期的かつ一元的な視点で、施設の長寿命化や統廃合を着実に推進するなど、公共建築物や橋梁をはじめとした道路構造物等の社会インフラの効率的かつ効果的な管理に取り組みます。</p>			
計画全般 Ⅲ-4-(1) Ⅱ-3-(3)	<p>市が直面する課題と時代の潮流「市民意識の多様化と公共の担い手の変化」について</p> <p>富山市自体として唯一</p>	<p>富山城については、これまで郷土博物館での常設展のほか、企画展や歴史探訪ツアーなどにおいて富山城と城下町の歴史について紹介してきました。</p> <p>呉羽丘陵(城山)については、Ⅱ-</p>			教育委員会	

項目	意見	対応(案)	現行案	修正案	担当部局	計画反映
	富山の歴史と認識できるのは富山城と呉羽丘陵であり、これらの歴史的重要性を掘り起こす必要があるのではないか。	<p>3-(3)施策の方向⑥「多様な目的に対応した公園などの整備」(P114)において、『風景や自然、歴史文化に親しみながら散策を楽しむフットパスの利用促進』について述べておりますが、江戸時代から街の人々にとって行楽地であったところであり、郷土博物館の特別展や民俗民芸村での呉羽山探訪ツアーなど、市主催のイベント等を通し、文化、歴史について学ぶ機会を提供してきたところです。</p> <p>今後とも、富山城の紹介や呉羽丘陵の散策路(フットパス)を活用したイベントを通し、多くの市民に富山の歴史を伝えていけるよう努めていきたいと考えています。</p>				
計画全般	<p>重点テーマ「コンパクトシティ政策の深化」への意見</p> <p>文面を全面的に再検討すべき(P20)</p>	<p>これまでのコンパクトシティ政策によって、まちなか居住人口や公共交通沿線居住人口の増加、人口の社会増、地価の上昇といった成果が、表れていると認識しており、市長の公約のもと、今後も、継続していくことで、それらの成果を全市域にいきわたらせていくことができるものと考えております。</p>			企画管理部	
計画全般 まちづく	コンパクトシティ政策は、中心市街地を活性化さ	コンパクトなまちづくり効果を表す指標として、市税収入の約半分を占め			活力都市創造部	

項目	意見	対応(案)	現行案	修正案	担当部局	計画反映
りの目標 Ⅱ	<p>せ税収を増加させるとい う成果にはいたっていない のではないかと。</p> <p>今後は、コンパクトシテ ィからスマートシティを 目指し、住民が望む生活圏 の安心安全を確保すべき ではないかと。</p>	<p>る固定資産税額と都市計画税額につい て、平成24年度と令和3年度を比較 すると、中心市街地エリアでは約 5.4%、市域全体では約11.1%増加し ております。</p> <p>また、面積では市域の約0.4%である 中心市街地が生み出す固定資産税と都 市計画税は、市全体の税収の約4分の 1を占めており、本市が進めてきたコ ンパクトシティ政策は税収増という面 でも確実に成果をもたらしております。</p>			企画管理部	
計画全般	<p>重点テーマ「スマートシ ティ」への意見</p> <p>「行政の徹底したデジ タル化と地区センター機 能の充実」「ウェアラブル ヘルスケア」「キャッシュ レスの普及」「スマート農 業」ほか(P20)</p>	<p>「(仮称)富山市スマートシティ推進 ビジョン」は、本市が目指すべきスマー トシティの将来像を描き、その実現に 向けた取組方針や推進体制等を取り纏 めるものであります。</p> <p>現在、ビジョンの策定に向けた準備 を進めているところであり、今後、ご提 案いただいたご意見も参考とし、市民 や事業者など、幅広い方々のご意見を 伺いながら、策定作業を進めてまいり たいと考えております。</p>			企画管理部	
計画全般	<p>重点テーマ「健康寿命の 延伸」への意見</p> <p>* ウェアラブルヘルスケア</p>	<p>スマートウォッチなどのウェアラブル 機器を活用した健康づくりが最近注目 されており、セルフケアを促す上でメ</p>			福祉保健部	

項目	意見	対応(案)	現行案	修正案	担当部局	計画反映
	システムによる健康管理(医療費低減) スマートウォッチなどを活用した健康チェック体制(早期発見早期予防) *感染症予防対策 免疫力を高める活動の普及	リットがあると考えられますが、機器やそのデータの活用方法など対応すべき課題が多くあるため、今後、体制づくりを含めて検討していく必要があるものと考えております。				
計画全般 Ⅱ-1-(1)	重点テーマ「安全・安心なまちづくりの推進」への意見 *河川の水位、橋梁ひずみ、傾斜の地すべりなどのセンサー監視の自動化 *安全・安心な新鮮野菜地元供給(地消地産)	ご意見の趣旨については、Ⅱ-1-(1)「災害に強く回復力のある安全なまちづくり」の施策の方向⑥「ICTを活用した安全・安心なまちづくり」(P77)の中で、「河川の水位観測や各種施設の損傷状況の監視を行うなど、ICTを活用した防災力の強化に努める」と述べております。	⑥ICTを活用した安心・安全なまちづくり (略)また、富山市全域をカバーする「富山市センサーネットワーク」を用いて、河川の水位観測や各種施設の損傷状況の監視を行うなど、ICTを活用した防災力の強化に努めるとともに、GPSセンサーを用いて児童の登下校路の実態調査を行い、富山大学と共同でデータを解析・「見える化」することで、市民協働による地域の安全・安心の向上に取り組みます。(略)		建設部	●
計画全般 Ⅳ-1-(2)	重点テーマ「地域を担うひとづくり」への意見 *安心して子育てできる体制づくり 乳幼児期のアタッチメント(母子間の愛着形成)	乳幼児の心の発達には母親(主たる養育者)との愛着形成が重要であり、愛着の形成はその後の心の発達や、人間関係に影響するといわれています。 市では子育て期の母親に対し、家庭訪問や各種健診、教室等の機会を捉え、	②女性活躍の推進 男女が共に育児休業や介護休業を取得しやすい職場環境づくりを促進するとともに、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)のとれた働き方の啓発に努めます。(略)		こども家庭部	●

項目	意見	対応(案)	現行案	修正案	担当部局	計画反映
		<p>子どもへの関わり方を助言するとともに、乳幼児健康相談のほか、家事や育児を援助するヘルパーの派遣、産後ケア施設でのレスパイト利用、保育所等での一時預かり等のサービス等を通じて母親の育児負担を軽減し、安心して子育てができる環境づくりに努めております。</p> <p>また、IV-1-(2)の施策の方向②「女性活躍の推進」(P170)でも述べているとおり、男女が共に育児休業や介護休業を取得しやすい職場環境づくりを促進してまいります。</p>				
計画全般	<p>重点テーマ「循環型社会づくりの推進」への意見</p> <p>* 包括的なエネルギー政策の推進の注意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 風力発電の低周波騒音 ・ 太陽光発電を平地に設置する場合、太陽光が平地に届かないことによる生態系の破壊 <p>一定の設置規制を明示する必要がある。</p>	<p>ご指摘の件については、包括的なエネルギー政策を推進する上で、留意すべき事項であり、地域での再生可能エネルギーの導入等にあたっては、関連する法令の基準に従い、適切に取り組んでまいりたいと考えております。</p>			環境部	
計画全般 Ⅲ-2-(2)	<p>重点テーマ「産業基盤の強化」につながる新規事業</p>	<p>現在、本市が目指すべきスマートシティの将来像を描き、その実現に向け</p>	<p>②多様化する観光客への観光情報発信と受入体制の充実</p>		<p>商工労働部 企画管理部</p>	●

項目	意見	対応(案)	現行案	修正案	担当部局	計画反映
	<p>についての意見</p> <ul style="list-style-type: none"> *スマート行政の徹底 市民が在宅で役所関連手続きが出来る仕組み(窓口業務廃止) 相談業務は Zoom ミーティング *市税や水道料金などの納付は全てキャッシュレス *医療、農業、水産業のスマートシステム導入 *県内の主要観光地を結ぶ交通システムとしてBRT(連接バス)を導入 社内には Bluetooth を活用した顧客タブレットへの観光案内の配信(数カ国語) *産学官連携によるスマートシステム開発機関の設置 	<p>た取組方針や推進体制等を定める「(仮称)富山市スマートシティ推進ビジョン」を策定しているところであります。</p> <p>今後、ご提案いただいたご意見も参考とし、市民や事業者など、幅広い方々のご意見を伺いながら、策定作業を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>また、観光分野においては、Ⅲ-2-(2)施策の方向の②「多様化する観光客への観光情報発信と受入体制の充実」(P149)にご意見の趣旨を含んでおります。</p> <p>観光用BRTについては、現在、県観光推進機構等で県内観光地を巡るバスツアー等の商品が販売されていることから導入は考えておりませんが、AIチャットボットを運用し、多様なニーズに対応した情報提供に努めてまいります。</p>	<p>より多くの観光客などに、本市の魅力を伝えるために、積極的に情報発信を行うとともに、AIチャットボットを運用し多様なニーズに対応した情報提供に努めます。(略)</p>			
計画全般	都市像「ひと・まち・自然が調和する活力都市とやま」を「幸せスマートシティとやま」としてはどう	『都市像』につきましては、平成28年度の基本構想策定時における当時の総合計画審議会で議論いただいたものであり、平成29年度から10年間に			企画管理部	

項目	意見	対応(案)	現行案	修正案	担当部局	計画反映
	か。	わたり目指す事項として定めたものです。				
その他	全体を通して、富山市がどのような方向を目指し、どこに力を入れていきたいのかがわかりづらい。	総合計画基本構想において、「まちづくりの基本理念」、「目指す都市像」、「まちづくりの目標」について記述しています(第2次富山市総合計画(P21~22))。			企画管理部	
計画全般	目指す都市像から目標、政策、施策と細分化されているが、わかりづらい。 全てを網羅しないと見えない内容の計画書となっており、施策の優先度がわかりづらい。もう少し内容を絞っても良いのではないか。	総合計画は、本市の最上位の計画に位置づけられることから、幅広い分野かつ分野横断的な内容が多くなっています。 施策の体系をP22から示し、また、計画にメリハリを持たせるため、後期基本計画の5箇年においては、『市民生活の質の向上』『ひとづくり』『SDGs』の3つの視点に立った『ネクストステージ重点プロジェクト』として、7つのテーマを設けて、包括的かつ優先的に各種事業を展開していくこととしています。	施策の体系(P22~30) ネクストステージ重点プロジェクト(P20~21)		企画管理部	
計画全般	コロナ禍にあって税収が落ちるものという前提に立って計画を立てるべきであり、また施策によって税収を増加させるという視点が必要ではないか。	総論(P40)に財政見通しを掲載することとしており、第2回部会の配布資料において示しております。			財務部 企画管理部	○

項目	意見	対応(案)	現行案	修正案	担当部局	計画反映
計画全般	<p>縦割り行政による弊害を感じる。二重行政の無駄を省くことで、市の予算はもっと抑えられるのではないかな。</p> <p>災害対策や景観など、富山市単独では解決が難しいこともある。周辺市町村や県との連携、協働の現状、今後の展望について教えてください。</p>	<p>Ⅳ-3-(3)「地方分権・広域連携行政への対応」施策の方向②「県や近隣自治体との連携等の推進」(P184)において、県のワンチームとやまの取組に関する記載と『災害対策など、市単独では解決が困難な事案への対応』を追記します。</p>	<p>Ⅳ-3-(3) 地方分権・広域連携行政への対応</p> <p>②県や近隣自治体との連携等の推進</p> <p>広域的な行政を担う県と住民に最も身近な基礎自治体である市における適切な役割分担のもと、県から市への権限移譲や県と市の二重行政の解消を進めるとともに、住民の利便性の向上や地域の活性化を図るため、県との連携強化に努めます。</p>	<p>Ⅳ-3-(3) 地方分権・広域連携行政への対応</p> <p>②県や近隣自治体との連携等の推進</p> <p>広域的な行政を担う県と住民に最も身近な基礎自治体である市における適切な役割分担のもと、県から市への権限移譲や県と市の二重行政の解消を進めるとともに、<u>災害対策など、市単独では解決が困難な事案への対応</u>や住民の利便性の向上、<u>地域の活性化を図るため、令和3年1月に設置された「ワンチームとやま」連携推進本部会議において県及び市町村間の課題の共有を図るなど、幅広く県との連携強化に努めます。</u></p>	企画管理部	○
計画全般	<p>広大な行政エリアの中で、中心部と中山間地域のバランスが取れた発展を目指すべきだ。</p>	<p>ご意見のとおり、市としても合併時から今後の人口減少を見据え、地域特性に配慮しながら、各地域のストックを生かした拠点集中型のコンパクトなまちづくりに取り組んできました。</p> <p>今後も引き続き、Ⅱ-2-(5)「交通体系の整備」(P105)、Ⅱ-2-(4)「地域の生活拠点の整備」(P103)、Ⅱ-6-(5)「中山間地域の振興」(P118)をはじめ、コンパクトなまちづくりの成果が市域全体へいきわたるよう取組を進めていきます。</p>			企画管理部	

項目	意見	対応(案)	現行案	修正案	担当部局	計画反映
その他	労働力人口、働く人の人口を増やすことに意味があることから、生産年齢人口という考え方をやめてはどうか。	生産年齢人口については、指標のひとつとして用いておりますが、ご指摘の点につきましては、本市の考え方と一致するものと考えております。			企画管理部	
その他	老朽化したまちなかの商店街を活性化させるために、税制を考える必要があるのではないか。	固定資産税などの市税については法令に基づき課税するものであり、中心市街地の活性化に寄与すると考えられる税制上の措置(不均一課税等)は、これまでも法令の範囲内で実施しております。市独自でさらなる税制上の措置を採ることは、税収が減少することに加え、税の公平性の観点からも考えておりません。			財務部	
その他	アピアの増改築で、このあたりが今後どのような影響を与え、どんな役割、機能を果たして欲しいといったことを書き込んでもいいのではないか。	アピアショッピングセンター及び周辺区域は富山市都市マスタープランにおいては富山中央地域として、また富山市立地適正化計画においては、居住誘導区域及び都市機能誘導区域に位置付け、圏域住民の最寄り品の購入や医療、金融サービスなど日常生活に必要な都市機能が充実した区域として、公共交通沿線居住の推進や生活利便性の向上を図ることとしております。 アピアショッピングセンターの増改築については、詳しい内容は把握して			活力都市創造部	

項目	意見	対応(案)	現行案	修正案	担当部局	計画反映
		おりませんので、総合計画への位置づけは困難ですが、大規模集客施設など、民間による多様な都市サービスと都市の魅力、活力を創出する広域的な都市機能の立地に関しては、今後とも事業内容や進捗状況などの把握に努めるとともに、まちづくりの専門家の派遣など、必要に応じて関係者等のご相談に対応してまいりたいと考えております。				
各論全般	「現状と課題」→「目標とする指標」→「施策の方向」の大小関係や目標と課題の関係が分かりにくい部分がある。	『冊子の見方』を新規に掲載し、それぞれの項目について説明いたします。		『冊子の見方』において、「現状と課題」「目標とする指標」「施策の方向」についての解説を記載いたします。	企画管理部	○
各論全般	関連事項何ページを参照など書いてある方が分かりやすいのではないかと。 (例：Ⅱ-3-(5)「中山間地域の振興」とⅢ-1-(4)「強い農林水産業の振興」)	ご趣旨は理解できることから、今後検討してまいります。			企画管理部	
各論全般	「目標とする指標」については、数値化できないものもあるが、それぞれ個別の事業でしっかり目標管理することが大切	基本的には、進捗管理が可能となるよう、数値目標を設定することとしておりますが、数値化が困難なものについては、各事業において、PDCAサイクルにより、効果的・効率的に事業を			企画管理部	

項目	意見	対応(案)	現行案	修正案	担当部局	計画反映
	である。	進めてまいります。				
各論全般	数値目標にどれほど意味があるのか。数字にはこだわり過ぎず、数値として伸ばしていくもの、また現状維持とするものなど、内容によって考えていくべきではないか。	<p>行財政運営では行政サービスの提供による市民生活への効果が重要であることから、本市の総合計画では、各施策に対して数値目標を定めています。</p> <p>総合計画の進捗状況を市民にわかりやすく伝えることや施策の効果を把握する指標ではありますが、ご指摘を踏まえ、数値の動向のみに捉われるのではなく、柔軟、かつ適切に活用してまいります。</p>			企画管理部	
各論全般	目標とする指標が掲げられていない項目があるのはどのような理由か。	進捗管理が可能となるよう、数値目標を設定することとしておりますが、施策の中には、数値化が困難なものもあります。			企画管理部	
各論全般	各論が抽象的で市民が何をすればよいのか、どのように力を合わせればよいのか、誰を対象としているのかがわかりにくい。	施策ごとに、『市民に期待する役割』として記載しているところですが、後期基本計画における新規掲載項目として、『冊子の見方』を掲載することとしており、市民に期待する役割についての意図や趣旨を記載いたします。		『冊子の見方』において、市民に期待する役割についての意図や趣旨を記載いたします。	企画管理部	